

救命法マニュアル

2012/8/2

1. 傷病者発見!

2. 意識があるかないか?

肩をたたきながら、
「〇〇さん、大丈夫ですか？」
「聞こえますか？」

ない

ある



呼吸は十分か?

3. 助けを求める

「〇〇さん、119番お願いします」
「〇〇さん、AEDをお願いします」
「〇〇さん、職員室に連絡をお願いします」

不十分・不明

十分

4. 気道確保

額に手をあてがい、
首を軸に回転するように
あごの先を上げる。



5. 呼吸はあるか?

胸の動きはあるか?(手を当て確認)
(呼吸音がはっきり聞こえるか?)

ない・不明

ある

回復体位にして
観察を続ける

☆ AED 起動(心肺蘇生と同時)

- ふたを開ける(自動で電源が入る)。
- 体をタオルでふく。
- 電極パッドを袋から出す。
25kg 以下の子どもは、
小児用パッドを用いる。
ない場合は成人用でよい。



- 保護シートをはがして、電極パッドを右肩と、左わき腹背面に
はる。



- 自動で、心電図の解析が始まる。
この時は、体に触れない。
- 誰も体に触っていないことを確認し、
メッセージに従い、ショックボタンを押す。



- 再び、心肺蘇生に戻る。
- 2分後に再び解析が始まる。
- 救急隊が来るまで繰り返す。
- AEDは、体に付けたまま、そのまま救急隊に渡す。

☆ 心肺蘇生

6. 胸骨圧迫 30回

「もしもし亀よ、亀さんよ」
の歌の速さで押す。100回/分



7. 人工呼吸 2回/2秒(省略可)

胸の動きを確認しながら
1秒に1回のペースで
2回吹き込む。
鼻をつまむのを忘れない。



※ 救急隊が来るまで6・7を繰り返す。